

2023春闘勝利！ 千葉県総決起集会

3月11日（土）18時半～千葉市民会館

国労

蘇我運輸区分会ニュース



講演「労働者・生活者を取り巻く情勢」
講師 金澤 壽 氏
（元労協議長 京成ユニオン共同代表）

安心して暮らし続けられる賃金、生活環境、労働環境・・・譲れません！
春闘は死語??
司会者のN関労の仲間より「春闘が死語になっているのでは？私たちの闘いを政治に結びつけていかなければならない」と開会のあいさつで始まりました。
社会的にも自分たちの会社も組合組織率が20%という状況では、職場を見渡しても、組合掲示板以外に「春闘」を感じる

じるものはないという淋しい実態であります。が、労働者が生きていくうえで必要な賃金を要求するのは当然の権利であり、それを実現出来るのは組合に結集する力しかありません。若い人たちに関わりながら、何としてもそこを強化していきたいと改めて思いました。
来賓あいさつ
共に闘う政党（社民党、新社会党、共産党、立民党）の県内各代表よりあいさつ、及びメッセージをいただきました。中では「日本の賃金は30年間上がって

おらず、先進国の中では最低の状況。外国人も日本で働く（かつてのよう）魅力を感じていない。賃金を上げていかなければ経済も回らないのに、岸田政権は国民の声を聞かず、大暴走を続けている・・・等々」といった報告が印象的でした。ここ数年の官制春闘などではなく、労働者自らの手で作り上げ、勝

ち取れる本来の春闘を取り戻したいものです。私たち高齢者においても、非正規も守っていく、弱者を置き去りにしないという社会全体の底上げを常に考えていかなければ、今後自分たちの生活にも悪影響が出てくるのは必至です。
各労組取り組み報告
郵政ユニオン、水道労組、国労千葉が会場でありさつを行い、他、高教組、千葉スクラムユニオン、東葛ユニオン、NTT労組、ユニオン木更津が書面にて職場実態や



春闘の取り組みの報告を行ないました。
JAL労組争議報告
不当解雇（165名）から12年を経過し、新たに被解雇者労働組合を結成し闘い続けている報告を受けました。最高裁でも憲法28条違反として、JALの敗訴が確定していますが、会社はそれを無視し続けているとのこと、怒りを覚えます。

団結してガンバロー
「弱者を助ける社会から、弱者を生まない社会へ」といった集会アピール後、団結カンパローで閉会しました。

講演：労働者・生活者を取り巻く情勢

講師：金澤 壽 氏（元全労協議長、京成ユニオン共同代表）

「資料は作ってきたんですが、あとでゆっくり読んで下さい」とざっくばらんに思いつくままの話が始まりました。

長い人生のほとんどを労働運動に全力で取り組んできたが故の余裕さえ感じます。こういうのも面白いと思いました。

資料内の柱は①コロナ禍で労働者の生活はどう変わったか ②家計の柱となる働き方が非正規 ③こんな国に誰がした ④政府・財界主導の春闘（中略）⑦闘わなければ全て空文句・・・といった興味深い内容で、きれいごと、威勢の良い言葉ではない、グサリ、グサリと突き刺さる物言いがこの人らしいと思いました。